シロモチくんとゴーちゃんが語る津市政㉓

地域の皆さんによる農地周辺の草刈り

どうやって守るの？ みんなの農地！
～農地維持支払制度で地域の活動を支援～

ねえねえ、シロモチくん。最近、市内で荒れている農地を見かけることがあるけど、どうしてかな。

それは農業をする人が高齢になったり、農業を受け継ぐ人がいなかったりして、農業をやめてしまうことが多くなってきたからなんだ。平成22(2010)年の農林業センサスによると、津市内で１年以上荒れたままの農地は829ヘクタールもあって、香良洲地域の面積の２倍以上にもなるんだよ。

えー、そんなに広い面積の農地が使われていないんだ！その人たちの代わりに農地を引き受けてくれる人はいないの？

もちろん、地域の農地を引き受けて頑張っている「担い手農家」もいるんだけど、農地とその周りを全て担い手農家だけで管理することは難しいんだ。それに、個人で農地を守っているだけでは作物はできないんだよ。

どういうこと？

例えば、お米を作る場合、たくさんの水を使うから、川から水を引いてくる水路や、川が近くになかったら水をためておく池が必要になるんだ。農地だけでなく、周りの水路や池と一緒にきちんと維持管理するこ